

科目名	英語コミュニケーションⅡ	学年		普通科			必/選	単位数	
		2	アドバンス		キャリア	スポーツ	必	4	
			国文	理進					
。	。								
学習目標	英語のストーリーを読み解くことを通じ、積極的に他者とコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養い、他者や作者とコミュニケーションがとれるようになること。								
使用教材	教科書：LANDMARK Fit English CommunicationⅡ（啓林館） 副教材：補助教材（プリント等） LANDMARK Fit English CommunicationⅡ サブノート（啓林館） チャンクで英単語（三省堂）								
評価	評価法	<p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業への参加（身近な暮らしにかかわる事柄について、本文での表現を用いながら、ペアで会話ができる。また、ロイロやノートによる課題の提出があるかどうか。） (知識・技能) 言語や文化についての知識・理解（語句や文構造、文法事項についての知識を身につけているかを、課題考査、定期考査や授業中の小テストで評価する。） (思考力・判断力・表現力) 外国語表現の能力（発音に注意し、意味内容が聞き手に伝わるように音読できる。単元ごとの音読テストで評価する。） 外国語理解の能力（絵や写真に基づいた簡単な短い文章や対話文を理解できる。課題考査、定期考査で評価をする。） 							
		評価観点の趣旨	a	知識・技能	定期考査・小テストなど。基本的な知識や技能を身につけているか、英語を発音したり聞き取ったり、読み取ったり書いたりなどの技能が身につけているかどうか。 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報を使って、自分の考えを英語で表現することができるか。				
			b	思考・判断・表現	定期考査、板書及びプリントの内容、課題の取り組み、レポートなど。身につけた知識をもとに、問題や課題に取り組んでいるか。コミュニケーションを行う場面や目的、状況に応じて情報を整理しながら自分の考えを論理的に英語で表現をすることができるか。				
			c	主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み、出席状況、プリントや問題集の提出状況 自学自習の取り組み 外国語の背景にある文化への理解を深め、主体的に外国語でコミュニケーションをとろうとしているか。				
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。									
期	月	時数	学習項目・単元		学習内容		評価方法		
							a	b	c

1 学 期	4	12	<ul style="list-style-type: none"> ・スウェーデン人の女の子が日本で発見したことを理解する ・不定詞の形容詞的用法について 	Lesson 1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan	○	○	○
	5	13	<ul style="list-style-type: none"> ・コウテイペンギンの生態について理解する ・現在完了形について、間接疑問文について 	Lesson 2 A Message from Emperor Penguins	○	○	○
	6	13	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線の清掃について理解する ・分詞の形容詞的用法について 	Lesson 3 Tokyo's Seven-minute Miracle	○	○	○
	7	13	<ul style="list-style-type: none"> ・完了形の受動態、複合関係代名詞について ・「種」について理解する 	Lesson 4 Seeds for the Future	○	○	○
2 学 期	9	13	<ul style="list-style-type: none"> ・ガウディをサグラダファミリアの関係について理解する ・過去分詞の分詞構文、付帯状況を表す with について 	Lesson5 Gaudi and His Messenger	○	○	○
	10	14	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代の再利用方法について理解する ・関係代名詞、完了不定詞について 	Lesson6 Edo: A Sustainable Society	○	○	○
	11	13	<ul style="list-style-type: none"> ・強調構文、部分否定について ・バイオディーゼル燃料で走る車についての文章を理解する 	Lesson7 Biodiesel Adventure: From Global to Global	○	○	○
	12	13	<ul style="list-style-type: none"> ・AI の登場による未来の変化について読み取る ・仮定法、関係代名詞について 	Lesson8 Our Future with AI	○	○	○
3 学 期	1	12	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションのやり方について理解する 	Optional Lesson1 Language Change over Time	○	○	○
	2	12	<ul style="list-style-type: none"> ・戦場からの手紙について書かれた文章を読み、理解する 	Optional Lesson2 Letters from a Battlefield	○	○	○
	3	12	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙の書きかたについて知る 				
担当者からのメッセージ (学習方法など)							
毎回の授業を大切に、こつこつ頑張りましょう。提出するものは必ず期限内に提出すること。							

科目名	英語コミュニケーションⅡ	学年		普通科			必/選	単位数		
		2	アドバンス		キャリア	スポーツ	必	4		
			国文	理進						
				。	。					
学習目標	英語のストーリーを丁寧に読み解くことを通じて、積極的に他者とコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり英語で適切に伝えたりする能力を養い、他者や作者とコミュニケーションがとれるようになること。									
使用教材	教科書：VISTA English Communication II (三省堂) 副教材：補助教材(プリント等) 5-STAGE英文法完成BOOK1 (数研出版)									
評価	評価法	<p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加(身近な暮らしにかかわる事柄について、本文での表現を用いながら、ペアで2発言程度の短い会話をすることができるか。また、プリントやロイロによる課題の提出があるかどうか。) <p>(知識・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語や文化についての知識・理解(語句や文構造、文法事項についての知識を身につけているかを、課題考査、定期考査や授業中の小テストで評価する。) <p>(思考力・判断力・表現力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語表現の能力(発音に注意し、意味内容が聞き手に伝わるように音読できる。單元ごとに行う音読テストで評価する。) ・外国語理解の能力(絵や写真に基づいた簡単な短い文章や対話文を理解できる。課題考査、定期考査で評価をする。) 								
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	定期考査・小テスト、ロイロ課題の提出や内容など。基本的な知識や技能を身につけているか。					日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報を使って、自分の考えや意見を英語で表現することができるか。	
		b	思考・判断・表現	定期考査、板書及びプリントの内容、課題の取り組み、レポートなどの評価。身につけた知識をもとに、問題や課題に取り組んでいるか。					コミュニケーションを行う場面や目的、状況に応じて情報を整理しながら自分の考えを論理的に英語で表現をすることができるか。	
		c	主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み、出席状況、プリントや問題集の提出状況 自学自習の取り組み。					外国語の背景にある文化への理解を深め、主体的に外国語でコミュニケーションをとろうとしているか。	
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)および評定(1～5の5段階)にまとめます。										
期	月	時数	学習項目・単元		学習内容		評価方法			
							a	b	c	

1 学 期	4	12	<ul style="list-style-type: none"> ・世界のダンスについて知る ・不定詞の用法について 	Lesson 1 World Dance Performances	○	○	○
	5	13	<ul style="list-style-type: none"> ・言語によって慣用表現が違うことを知る ・疑問詞や節について知る 	Lesson 2 A Piece of Cake	○	○	○
	6	13	<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアのクオッカについて知る ・使役動詞・知覚動詞を理解する 	Lesson 3 Quokka	○	○	○
	7	13	<ul style="list-style-type: none"> ・切手のデザインについての文章を読む ・形式主語 it について 	Lesson 4 Designing Stamps	○	○	○
2 学 期	9	13	<ul style="list-style-type: none"> 「モンサンミシェル」について知る ・完了形について 	Lesson5 Mont-Saint-Michel	○	○	○
	10	14	<ul style="list-style-type: none"> ・「スマート農業」と呼ばれる農業を知る ・受動態について 	Lesson6 Smart Agriculture	○	○	○
	11	13	<ul style="list-style-type: none"> ・競技カルタについて知る ・関係代名詞 what について 	Lesson7 Martial Art on Tatami	○	○	○
	12	12	<ul style="list-style-type: none"> ・動物によって行う科学調査について知る ・分詞構文・強調構文について知る 	Lesson8 Biologging	○	○	○
3 学 期	1	12	<ul style="list-style-type: none"> ・田舎に滞在することになった主人公について知る 	The Open Window The Christmas Truce	○	○	○
	2	12	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスで休戦をした国の話を読む ・宇宙飛行士の野口さんの夢を知る 	My dream The Restaurant of Many Orders	○	○	○
	3	13					

担当者からのメッセージ（学習方法など）

毎回の授業を大切にして、こつこつ頑張りましょう。提出するものは必ず期限内に提出すること。

科目名	論理・表現Ⅱ	学年	普通科			必／選	単位数	
		2	アドバンス	キャリア	スポーツ	必	2	
			国文					理進
学 習 目 標	日常的な話題や社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて、自分の伝えたい情報や考え、気持ちなどを、英語を用いて適切に表現できるようになること。また、他者の考えや意見をやり取りの中で理解できるようになること。							
使 用 教 材	教科書： Vision Quest Hope English Logic and Expression Ⅱ (啓林館) 副教材：補助教材（プリント等） Vision Quest Hope English Logic and Expression Ⅱ NEWWORKBOOK (啓林館)							
評 価	評価法	<p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加（外国の文化をふまえて、日本での身近な暮らしにかかわる事柄について、本文での表現を用いながら、ペアやグループで短い会話をしようとしているかどうか。また、ロイロやプリント、レポートなどの課題の提出があるかどうか。） <p>（知識・技能）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語や文化についての知識・理解（語句や文構造、文法事項についての知識を身につけているかを、課題考査、定期考査や授業中の小テストで評価する。英語による国紹介、プレゼンテーション等のパフォーマンステストも実施する。） <p>（思考力・判断力・表現力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語表現の能力（発音に注意し、意味内容が聞き手に伝わるように音読できる。音読テストで評価する。英作文で自分の伝えたい事柄を伝えることができるか、小テストで評価する。） ・外国語理解の能力（絵や写真に基づいた英語の簡単な短い文章や対話文を理解できる。課題考査、定期考査、授業中の小テストで評価をする。） 						
		評価観点の趣旨	a	知識・技能	定期考査・小テストなど。基本的な知識や技能を身につけているか。 日常的な話題や社会的な話題について、簡単な英語を聞いたり読んだりして得られた情報や文法項目を使って、自分の考えや意見を適切に表現することができるか。			
			b	思考・判断・表現	定期考査、板書及びプリントの内容、課題の取り組み、レポートなど。身につけた知識をもとに、ノートの問題や課題に取り組んでいるか。 コミュニケーションを行う場面や目的、状況に応じて情報を整理しながら自分の考えや意見を、論理的に表現すること（書く、話す、発表する）ができるか。			
			c	主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み、出席状況、プリントや問題集の提出状況 自学自習の取り組み。 外国語の背景にある文化への理解を深め、主体的に外国語でコミュニケーションをとろうとしているか。			
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。								
期	月	時	学習項目・	学習内容	評価方法			

		数	単元		a	b	c
1 学 期	4	6	・主語を選択する ・形式主語 ・主語になる名詞句 ・自動詞、他動詞、群動詞	Lesson 1 将来の目標 What is your future goal?	○	○	○
	5	7	・適切な動詞を用いる ・現在と過去を表す表現 ・時を表す	Lesson 2 学校生活 What school events do you have?	○	○	○
	6	7	・義務、必要、推量を表す ・必要性を表す助言 ・情報を加える表現について	Lesson 3 スポーツ Who is the best athlete?	○	○	○
	7	6	・形容詞、分詞、前置詞句による修飾 ・不定詞による修飾	Lesson 4 情報化社会 Is social media safe?	○	○	○
2 学 期	9	7	・関係代名詞 ・関係副詞 ・不定詞(副詞的用法)	Lesson 5 環境問題 How does overusing energy affect us?	○	○	○
	10	7	・副詞、副詞句、副詞節 ・分詞構文 ・直接話法と間接話法	Lesson 6 文化 What are some differences?	○	○	○
	11	7	・さまざまな伝達表現 ・「～と言われている」 ・条件	Lesson 7 言語教育 Do all Japanese people need to speak English?	○	○	○
	12	6	・仮定 ・可算名詞、不可算名詞 ・数量を表す表現	Lesson 8 社会 Is Japan open enough?	○	○	○
3 学 期	1	6	・原級比較	Lesson 9 願望 What if you were rich?	○	○	○
	2	6	・比較級	Lesson 10 科学技術 How might AI affect our life?	○	○	○
	3	5	・最上級 ・部分否定 ・準否定	Lesson 11 健康 What is a healthy life?	○	○	○
				Lesson 12 ビジネス What is important when we sell chocolate?	○	○	○

担当者からのメッセージ (学習方法など)

毎回の授業を大切にして、こつこつ頑張りましょう。提出するものは必ず期限内に提出すること。

科目名	異文化理解	学年	普通科			必/選	単位数	
		2	アドバンス	キャリア	スポーツ	必	1	
			国文					理進
学 習 目 標	海外の様々な文化を主体的に学び、英語を用いて学んだことを発表し、基礎的な英語活用能力を養うとともに、異文化への理解を深めること。							
使 用 教 材	主たる教材： MY FIRST PASSPORT1 （ OXFORD UNIVERSITY PRESS ） 副教材： 自主作成教材							
評 価	評価法	<p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加（外国の文化をふまえて、日本での身近な暮らしにかかわる事柄について、本文での表現を用いながら、ペアで短い会話をするができるかどうか。また、ロイロやプリント、レポートなどの課題の提出があるかどうか。） <p>（知識・技能）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語や文化についての知識・理解（語句や文構造、文法事項についての知識を身につけているかを、課題考査、定期考査や授業中の小テストで評価する。英語による自己紹介や国紹介等のパフォーマンステストも実施する。） <p>（思考力・判断力・表現力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語表現の能力（発音に注意し、意味内容が聞き手に伝わるように音読できる。学期に1回程度の音読テストで評価する。） ・外国語理解の能力（絵や写真に基づいた英語の短い文章や対話文を理解できる。小テストや定期考査で評価をする。） 						
		評価観点の趣旨	a	知識・技能	英語を使用している人々の言語活動に必要な文化背景を理解しているか。日常生活の様々な報告や随筆などについて、その概要や要点を自分の考えや気持ちをまとまりのある文章で説明できるか。日常的な話題や社会的な話題について、簡単な韓国語を聞いたり読んだりして得られた情報を使って、自分の考えを英語で表現することができるか。			
			b	思考・判断・表現	興味・関心のある話題について、即興で、自分の意見を述べたり、意見交換したりすることができるか。コミュニケーションを行う場面や目的、状況に応じて情報を整理しながら自分の考えを論理的にまとめ、簡単な英語で表現することができるか。			
	c		主体的に学習に取り組む態度	積極的に自分の意見を発信したり、相手の考えや文化を知ろうとしたりしているか。外国語の背景にある文化への理解を深め、主体的に外国語でコミュニケーションをとろうとしているか。				
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。								
期	月	時数	学習項目・単元	学習内容			評価方法	
					a	b	c	

1	4	2	Where are you from?	<ul style="list-style-type: none"> 世界の様々な国について学び、自分が行きたい国について、英語で発表する。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	5	3	How long are you staying?	<ul style="list-style-type: none"> Immigrationでの会話ができる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	6	3	It's a kind of jacket	<ul style="list-style-type: none"> 日本文化について紹介したいものを選び、英語で発表する。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	7	3	I'd like different tickets, please	<ul style="list-style-type: none"> ticketsを買う時の会話ができる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		2	DESTINATION	<ul style="list-style-type: none"> THE U.K.、Hong Kong、Canadaから1つ選び、英語で発表する。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	9	3	I'm hungry!	<ul style="list-style-type: none"> 香港の食べ物について学び、食事をする時の会話ができる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	10	4		<ul style="list-style-type: none"> 世界の食べ物の中から、紹介したいものを選び英語で発表する。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	11	4	How much is it?	<ul style="list-style-type: none"> 買い物の仕方についての会話ができる。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	12	3		<ul style="list-style-type: none"> 世界のお土産の中から紹介したいものを選び英語で発表する。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	1	2	Graduation Ceremony	<ul style="list-style-type: none"> 世界の卒業式について調べ、それを英語で発表する。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	2	3					
	3	3					

担当者からのメッセージ（学習方法など）

英語で発信する力をつけていきましょう。一緒に基礎から頑張りましょう。

科目名	学年		普通科				必/選	単位数
			アドバンス		キャリア	スポーツ		
			国文	理進				
ハングル	2					選	1	
学習目標	基本文法を学び、初級レベルの読解力と、ハングルを用いた簡単なコミュニケーションがとれるような能力の習得を図ること。							
使用教材	主たる教材：韓国語 スタート BOOK ナツメ社 副教材：補助教材（プリント等）							
評価	評価法	<p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業への参加（韓国の文化をふまえて、日本での身近な暮らしにかかわる事柄について、本文での表現を用いつつ、ペアで2発言程度の短い会話を行うことができるかどうか。また、ロイロやプリント、レポートなどの課題の提出があるかどうか。） <p>（知識・技能）</p> <ul style="list-style-type: none"> 言語や文化についての知識・理解（語句や文構造、文法事項についての知識を身につけているかを、課題考査、定期考査や授業中の小テスト等で評価する。韓国語による自己紹介等のテストも実施する。） <p>（思考力・判断力・表現力）</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国語表現の能力（ハングルの発音に注意し、意味内容が聞き手に伝わるように音読をすることができる。学期に2回程度の音読テストで評価する。） 外国語理解の能力（絵や写真に基づいた韓国語の簡単な短い文章や対話文を理解できる。課題考査、定期考査で評価をする。） 						
		評価観点の趣旨	a	知識・技能	定期考査・小テストなど。基本的な知識や技能を身につけているか。 日常的な話題や社会的な話題について、簡単な韓国語を聞いたり読んだりして得られた情報を使って、自分の考えを韓国語で表現することができるか。			
			b	思考・判断・表現	定期考査、板書及びプリントの内容、ロイロ課題の取り組み、レポートなどで評価する。身につけた知識をもとに、問題や課題に取り組んでいるか。 コミュニケーションを行う場面や目的、状況に応じて情報を整理しながら自分の考えを論理的に簡単な韓国語で表現をすることができるか。			
	c		主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み、出席状況、プリントや問題集の提出状況 自学自習の取り組み。 外国語の背景にある文化への理解を深め、主体的に外国語でコミュニケーションをとろうとしているか。				
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。								
期	月	時数	学習項目・単元		学習内容		評価方法	
							a	b

1 学 期	4	3	ハンゲルの書き方、読み方、発音のルール ~です（自己紹介する/平徐文） ~ですか？（職業を尋ねる/疑問文）	第1章 ハンゲルについて 第2章 基本の文法と会話	○	○	○
	5	4	~は（自分について話す/助詞①） ~が（趣味をいう/助詞②）		○	○	○
	6	4	これ、それ、あれ（物を指す/指示代名詞①） います、あります（設備があるかないか尋ねる/ 存在詞①）		○	○	○
	7	3	~に、~も（お店の場所を言う/助詞③）		○	○	○
2 学 期	9	3	いません、ありません（無い事を伝える/存在 詞②）		○	○	○
	10	4	します（公演の有無を尋ねる/基本動詞） ~を~で（助詞④）、ではありません どこ、何（商品について尋ねる/疑問詞疑問詞 ②）		○	○	○
	11	3	誰（人について尋ねる/疑問詞③） ~です、~ます（用言を「~です」「~ます」に活 用） ~です、~ます（柔らかい言い方をする） ~します柔らかい口体で会話する/動詞・形容詞 の口体）		○	○	○
	12	2	~月、~日（日付をいう/漢数詞と日付） いくらですか？（値段を尋ねる/疑問詞④） ~時、~分（時刻を言う/固有数詞と漢数詞）		○	○	○
3 学 期	1	3	~しました、~でした（過去のことをいう/過去 形）		○	○	○
	2	3	~したいです（行きたい場所を伝える/意思、願 望） ~されます、お~になります（席をゆずる/尊敬 形）		○	○	○
	3	3	~してください（してほしいことを頼む/依頼） ~しましょう（観光地へ誘う/勧誘） ~しても良いですか？（許可を求める/許可） ~しないでください （自分を忘れないようお願いする/丁寧な禁止）		○	○	○

担当者からのメッセージ（学習方法など）

毎回の授業を大切に、こつこつ頑張りましょう。提出するものは必ず期限内に提出すること。

科目名	スペイン語	学年		普通科			必/選	単位数					
		2	アドバンス		キャリア	スポーツ	選	1					
			国文	理進									
		。											
学習目標	スペイン語の基本文法を学び、初級レベルの読解力と、スペイン語での簡単な会話が理解できる能力の習得を図る。												
使用教材	主たる教材：ディアロゴス 対話で学ぶスペイン語[改訂版] 副教材：補助教材（プリント等）												
評価	評価法	<p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加（スペインの文化をふまえて、日本での身近な暮らしにかかわる事柄について、本文での表現を用いながら、ペアなどで2発言程度の短い会話を行うことができるかどうか。また、ロイロやプリント、レポートなどの課題の提出があるかどうか。） <p>（知識・技能）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語や文化についての知識・理解（語句や文構造、文法事項についての知識を身につけているかを、課題考査、定期考査や授業中の小テスト等で評価する。スペイン語による自己紹介のテスト、プレゼンテーションも実施する。） <p>（思考力・判断力・表現力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スペイン語表現の能力（発音に注意し、意味内容が聞き手に伝わるように音読できる。音読テスト、発音テストで評価する。） ・外国語理解の能力（絵や写真に基づいたスペイン語の簡単な短い文章や対話文を理解できる。課題考査、定期考査等で評価をする。） 											
		評価観点の趣旨	a	知識・技能	定期考査・小テストなど。基本的な知識や技能を身につけているか。 日常的な話題や社会的な話題について、基本的なスペイン語を聞いたり読んだりして得られた情報を使って、自分の考えをスペイン語で表現することができるか。								
			b	思考・判断・表現	定期考査、板書及びプリントの内容、課題の取り組み、レポートなど。身につけた知識をもとに、問題や課題に取り組んでいるか コミュニケーションを行う場面や目的、状況に応じて情報を整理しながら自分の考えを論理的に簡単なスペイン語で表現をすることができるか。								
		c	主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み、出席状況、プリントや問題集の提出状況 自学自習の取り組み。 外国語の背景にある文化への理解を深め、主体的に外国語でコミュニケーションをとろうとしているか。									
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。													
期	月	時数	学習項目・単元		学習内容		評価方法						
							a	b	c				

1 学 期	4	3	・名前、あいさつ、出身、住所 ・文の種類（平叙文、肯定文、否定文、疑問文）	Lesson 1 あいさつ	○	○	○
	5	3	・自己紹介する。 ・名詞（性、数）、冠詞	Lesson 2 紹介	○	○	○
	6	3	・専攻と学習言語、履修科目を表現する。 ・動詞、直接法現在（規則活用）、動詞 <i>ser, estar</i>	Lesson 3 専攻と言語	○	○	○
	7	3	・ものの名前、所在、行き先、交通手段 ・指示詞、 <i>hay</i> 、並列の接続詞 <i>y, pero, o</i>	Lesson 4 街で	○	○	○
2 学 期	9	3	・食べもの・食事、好物、注文、料理 ・目的格人称代名詞、動詞 <i>gustar</i> を用いる文	Lesson 5 食事	○	○	○
	10	4	・家族、職業、外見、年齢 ・所有代名詞、動詞 <i>tener</i> を用いる文	Lesson 6 家族と職業	○	○	○
	11	4	・言い方を尋ねる、所持品、買い物、 ・形容詞、動詞 <i>querer</i> を用いる文	Lesson 7 持ち物 Lesson 8 住居	○ ○	○ ○	○ ○
	12	3	・住居、部屋、家具類の位置、家賃と広さ ・数字、前置詞				
3 学 期	1	3	・現在の時刻、時間・スケジュール、一日の生活、予定表 ・再帰代名詞、動詞 <i>jugar</i> を用いる文	Lesson 9 時刻と日付 Lesson 10 大学学	○ ○	○ ○	○ ○
	2	3	・道案内、教室で、可能・禁止、時間割 ・肯定命令文、無人称の <i>ser</i>	Lesson 11 週末の後で	○	○	○
	3	3	・週末の話題、経験、観光・訪問 ・現在分詞、現在完了		○	○	○

担当者からのメッセージ（学習方法など）

毎回の授業を大切にして、こつこつ頑張りましょう。提出するものは必ず期限内に提出すること。